



三畑町に残るコンクリート製掩体壕（北伊勢陸軍飛行場）

鈴鹿市の ルーツを 見直そう

すずか 民 報

第121号
2005年10月23日

日本共産党鈴鹿市議団
市議会報告特集

「軍都」だった鈴鹿市

戦争遺跡の保存活用を

9月市議会で森川ヤス工議員は、鈴鹿市の平和教育について質問しました。鈴鹿市は昭和17年、海軍工廠や航空隊基地などの軍事施設の進出のために12町村が合併して発足したという特殊な歴史をもっています。鈴鹿市は「軍都」として誕生したのです。敗戦後の鈴鹿市は、その広大な軍事施設の跡地に、紡績やホンダなどの工場を次々

戦争体験を風化 せない取り組みを

森川議員は、①2002年に市政60周年記念として発行された冊子「鈴鹿市のあゆみ・軍都から平和都市へ」を活用すること、②当時の体験者から学ぶ機会をつくること、③市内に今も点在する旧軍施設を、貴重な資料として保存活用すること、を求めました。教育長は、平和教育をすすめる中で鈴鹿市の成り立ちについても教えていくことは大切だという認識を示しました。また文化振興部長は、戦争遺跡の保存に努力すると答えました。



鈴鹿海軍工廠正門の銘板
(大池町・旭化成工場の南)

旭が丘小、全普通教室が床暖房に

他の学校との 格差どうする？

今年度から2年かけて、旭が丘小の校舎建て替え工事が進められています。市内の大規模小学校とあつて、事業費も26億円(仮設校舎も含む)かかります。新校舎は総2階建て、教室と廊下に境のない「オープン教室」です。冬の寒さ対策として、全普通教室に「床暖房」を設置します。他にも給食運搬を兼ねたエレベーター、雨水利用な



せめてストーブを全教室に

冷房も常識と なった今の世に

石田議員は6月議会で「床暖房は良いことだが、寒いままの他の学校の対策はそのままなのか」とたどしました。市教委は「多額の経費を要するので、現時点では困難」と、まったく改善の姿勢を見せませんでした。石田議員は、「新校舎の26億円と比べれば、ストーブを市内全校全教室に入れてもわずかの経費で済むのに、なぜやろうとしないのか」と、学校格差に目を向けない市教委の態度を批判しています。県内でも冷房を入れる学校も出てきた今の水準からかけ離れた、「寒い冬にストーブもない学校」では、とても鈴鹿市は子どもを大事にしていると言えません。

高い国保税、もつと下げて

4軒に1軒は 支払いに困っている

石田秀三議員は、「高くして払えない」国保税の引き下げを求めて質問しました。昨年共産党議員団が「県下でいちばん高い国保税、収納率は県下ピリ」という不名誉な実態を批判し、本年度は平均5%ほどの税額引き下げが行な

われしましたが、依然として高い水準です。

石田議員は、国保加入世帯の約3割ほどの世帯が滞納している、またその半数ほどの世帯には正規の保険証が交付されていないという異常な数字(別表)を示し、払いたくても払えない状態を解決するために、昨年に続いて引き下げの検討を求めました。

黒字と基金11億円・ 使えば出来る

昨年度の国保会計の決算見通しは6億9千万円の黒字で、基金残高4億4千万円と合わせれば11億円もの財源があります。

石田議員は、一昨年の大幅値上げの理由とされた赤字の予想が10億円も外れた、この見込み違いは引き下げによつて市民に還元すべきだと主張しました。市側は検討をする

国保税滞納世帯・保険証不交付世帯の実態

(平成17年6月現在・三重県資料より)

	国保世帯(32,631)	資格証明書	短期保険証
	のうち滞納世帯	交付世帯	交付世帯
鈴鹿市・実数	9,062	2,455	2,237
同 比率	27.8%	27.1%	24.7%
県内15市平均	18.3%	20.1%	15.8%

介護保険の改悪、 市民への影響は

施設を出る事態に
ならないように



森川ヤスエ 市議



先の国会で介護保険法が改定され、中身が大幅に改悪されました。その主なものは、「ホテルコスト」(居住費)・食費負担導入による施設入所費用の引き上げ(10月より実施)、要介護度1を2段階に分けて家事援助ヘルパーを制限する(来年度より)、

森川ヤスエ議員は9月議会で、この改悪による施設入所者への影響、年金額よりも負担が高くなり施設を出なければならぬ事態への対策について質問しました。

市側は、個別に相談を受ける、負担が急騰しないよう緩和措置などを講じると答弁しました。また、家事援助サービスなどの後退についての対応は、広域連合や鈴鹿市の計画の見直しの中で、サービ

新庁舎議場は対面方式に

市役所新庁舎はこの年末に完成し、来年1月から業務を始めます。議会のスペースはいちばん上の14、15階部分です。

ビ中継も引き続き行なわれ、新議場でのいっそうの活発な議論が期待されます。

新しい議場では、質問者席が中央に作られ、執行部との議論が「対面方式」に、また持ち時間内に何回でも質問できる「一問一答方式」に改められます。一般質問のテレ



完成間近の新庁舎

こんなに重くなる利用者負担

介護保険法改悪による負担増・厚生労働省資料より (単位:万円)

利用者負担段階と居室の種類	特別養護老人ホーム		老人保健施設		療養型医療施設	
	旧負担額	10月からの負担額	旧負担額	10月からの負担額	旧負担額	10月からの負担額
1段階	相部屋	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5
	個室	3.5		4.0		4.0
2段階	相部屋	4.0	4.0	3.7	4.0	3.7
	個室	4.0		4.2		4.2
3段階	相部屋	4.0	4.0	5.5	4.0	5.5
	個室	4.0		8.5		8.5
4段階	相部屋	5.6	5.9	8.1	6.3	8.9
	個室	5.6		12.0		12.9

第1段階：生活保護受給者など、第2段階：市民税非課税世帯で所得80万円以下、第3段階：非課税世帯で所得80~266万円、第4段階：それ以上の世帯

中学校ランチサービス はじめから利用低迷

今年5月から3中学校で、そして9月からは全中学校で昼食に弁当を販売する「ランチサービス」(1食400円)が始まりました。しかしその利用実績は、全生徒のわずか2.5%程度、1校1日12食ほどと低迷しています。市教委は「手作り弁当を持つてこられない家庭への、子育て支援」としてこの事業を位置づけ、



石田秀三 市議



利用率を6%と予定していましたが、計画を大きく下回る状態になっています。

本来の学校給食の 原点に戻って

6月議会で石田秀三議員は、

Cバス南部路線がスタート

料金は100円〜300円

10月1日から、市西南部を走るCバス南部路線がスタートしました。ルートは「白子・平田線」(白子駅〜三宅〜国府〜平田駅)、「太陽の街・平田線」(太陽の街〜稲生〜道伯〜平田駅)の2路線で、料金は区間により100円〜200円です。両路線は稲生F1マートで乗り換えができ、回生病院やベルシティにも行きます。西部路線が走り出して5年、平均乗客数16人と市民に

大好評ですが、この南部路線も市民生活に欠かせない足として定着することが望まれます。



Cバス南部路線の出発式 (10月1日・三宅町)

「もともと父母たちが長年求めてきたのは、『小学校のような給食』で、教委のアンケートでも63%も希望があった。それを一部の子どもしか対象にしない『弁当販売』に方

向を曲げてしまったことが問題と、検討のやり直しを求めています。市教委は当分「ランチサービス」を続ける意向ですが、評判を上げる決め手はありません。

ランチサービスの 利用実績(9月分)

学校名	生徒数	一日平均食数
平田野中	411	9
白鳥中	497	14
神戸中	695	10
大木中	459	33
千代崎中	564	11
白子中	844	5
天栄中	514	12
鈴峰中	338	6
鼓ヶ浦中	506	15
創徳中	477	8
合計	5,035	123